

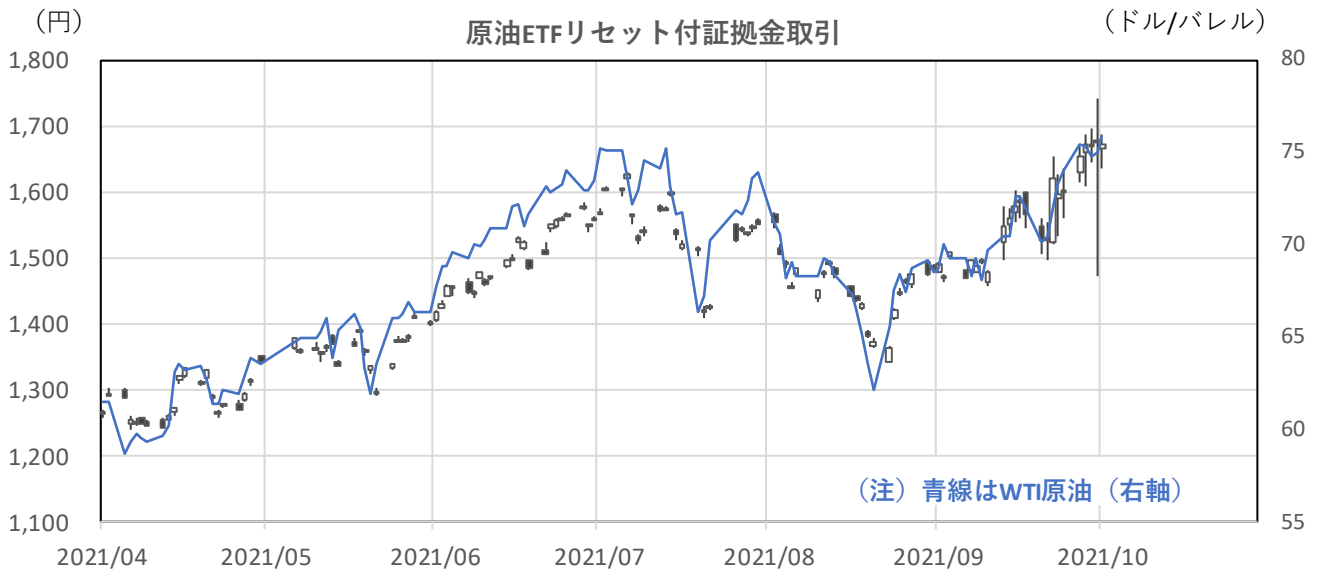
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2021/10/04号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

需給ひっ迫見通しで、戻り高値更新が続く

NY原油先物相場は、1バレル=76.67ドルまで上値を切り上げて7月6日以来の高値を更新した後、73～76ドル水準で高止まりする展開になった。需給ひっ迫化に対して根強い警戒感があり、押し目買い優勢の展開が続いている。ただ、米原油在庫が予想外の増加になったこと、株安・ドル高といった外部環境の悪化、10月4日に石油輸出国機構 (OPEC) プラス会合を控えたイベントリスクから、年初来高値76.98ドル (7月6日) 更新を前に上げ一服となっている。

エネルギー需給全体のひっ迫化に対する警戒感が強い。新型コロナウイルスの感染被害一服で需要の伸びが加速する中、供給サイドが需要拡大に対応できるのか不透明感が強い状況が続いている。中国政府は冬季の安定的なエネルギー供給を確保するため、国営エネルギー会社に対してエネルギー資源の調達拡大を命じており、原油以外にも天然ガス、石炭などの化石燃料価格全体が高騰を続けている。このため原油相場も戻り高値の更新が続いているが、短期筋の利食い売りで週後半は伸び悩んだ。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米原油在庫 (9月24日時点) は、原油が前週比458万バレル増、ガソリンが19万バレル増、石油精製品が38万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレーム) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需給引き締めりで堅調か、OPECプラス会合がイベントリスクに

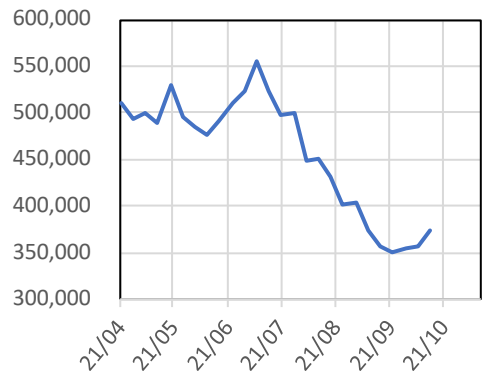
需給ひっ迫化に対する信頼感が維持され易く、押し目買い優勢の展開が維持されよう。株安・ドル高環境でも高値水準を維持しており、年初来高値76.98ドル更新から80ドルの節目に迫る展開になろう。

10月4日にOPECプラス閣僚級会合が開催される。7月には10月、11月ともに日量40万バレルのペースで減産規模を縮小（＝増産）することが合意されているが、今会合では増産ペースを加速させる動きがみられるかが焦点になる。OPECプラスは政策調整に慎重とみられるが、ブレント原油が80ドルの節目を回復したこともあり、米国を筆頭とした消費国から供給拡大を求める声が強くなっている。ただ、仮に増産ペースが加速しても、OPECプラスの増産能力に懐疑的な見方があることに加えて、需給ひっ迫化を否定するような動きが想定されている訳ではなく、原油高傾向に対してペースダウンを迫る動きの有無との視点に留まろう。

中国経済の減速懸念が非鉄金属相場などの上値を圧迫しているが、エネルギーに関しては逆に調達量が増えるとの見方が強く、原油相場に対する影響は限定されよう。冬の需要期に向けて世界的な需要拡大に対する信頼感は維持されている。特に、天然ガスや石炭相場の高騰が続くと、原油相場も強含み展開が維持され易い。

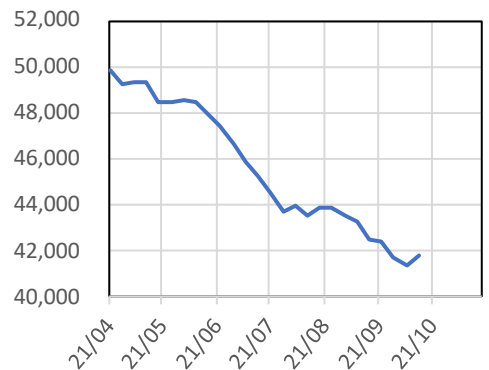
一方、下落リスクとしては株価やドル相場の動向に注意が求められる。インフレ懸念で原油相場が買われれば良いが、リスクオフが加速すると原油市場でも手仕舞い売りが膨らむ可能性がある。また、足元ではドル高圧力が一服しているが、ドル高再開となった際にも、上値を圧迫され易い。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



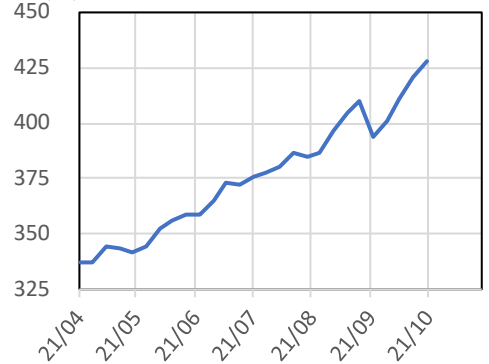
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <http://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

